

学 福智町高齢者大学(赤池養命大学)が市場小で交流
舎でふれあい心ときめき輝いた

町高齢者大学の赤池地区受講生26人が「一般教養講座」の一環として、10月9日に市場小を訪問しました。授業参観の後、ふれあいホールで1年生から歌の歓迎を受け、参加者は顔をほころばせて感激した様子でした。真新しい校舎で児童たちとふれあった参加者が児童から元気をもらい、いきいきとした表情を見せた素晴らしい講座でした。



↑「大きく口を開けて」。1年生と一緒に市場小校歌を斉唱する参加者たち。

↓自分たちが愛情を込めて6月に植えた稲を丁寧に刈り取っていく園児たち。



今 町内各地で実りの秋
今年のお米は被害少なく順調な収穫高

町内各地で黄金色の稲穂が収穫されています。9月30日に農林水産省が公表した今年の筑豊地区水稻作況指数は101で「平年並み」。昨年発生した害虫「うんか」の被害もなく順調な収穫です。10月23日に上野の田んぼで行われた上野・市場・赤池・中尾の4保育園合同の稲刈りでは、こうべを垂れた見事な稲穂に、児童たちの歓声が上がっていました。

県 石山優香さん(市場小2年)交通安全絵画
内の最優秀作品に輝く

元気に手を挙げて横断歩道を渡る女の子を描いた石山優香さん(赤池)の作品が、県交通安全協会主催の「交通安全図画コンクール」で小学2年生部門の最優秀作品に選ばれました。「みんなが元気に手を挙げて事故がなくなってほしい。この絵が交通安全の役に立ったらいいなと思います」と笑顔で交通安全を願った石山さんは、11月12日に福岡市で開かれる交通安全県民大会の表彰式に出席する予定です。



←最優秀作品の記事が載った交通安全新聞を手にしてニコリほほ笑む石山さん。

↓全学年が縦割り4チームで、力とチームワークを競った弁城小の綱引き競技。



赤 町内4小学校で運動会
も白もカー杯グラウンドで競技

9月30日に上野・伊方・弁城小で、10月5日に金田小で運動会が開かれ、赤白帽姿の児童たちがグラウンドを元気に駆け回りました。カメラを片手に声援を送る保護者も気合い十分、どの学校も全校児童が練習の成果を存分に発揮しました。全力疾走や見事に成功した組体操に会場から大きな拍手が沸き起こり、保護者はわが子の成長を目に焼き付けました。

↓平成筑豊鉄道イメージキャラクター「ちくまるくん」の登場にみんな大喜び。

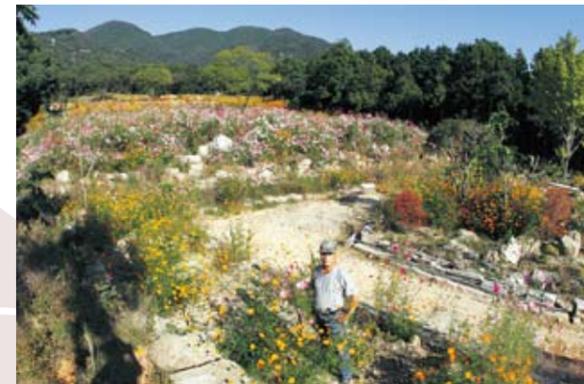


地 へいちくフェスタ
域が鉄道に親しんだ一日

今年で6回目をむかえた平成筑豊鉄道の開業記念イベント「へいちくフェスタ in かなだ」が、10月5日に金田駅構内で開催されました。小雨がばらつく中にもかかわらず、約1200人の熱心なへいちくファンが来場。今年導入されたレトロ車両「浪漫号」の車両開放をはじめ、ミニ電車乗車コーナーやチョコレートつかみ取りなどが家族連れの人気を集めていました。また、この日は利用者にごとの感謝を込めて全線一律100円列車が運行され、ホームも列車もたくさんの乗客でにぎわいました。

上 六車観光農園完成間近
野の絶景に魅了され夢の農園開発中

「こんな絶景はほかにはない」と、3年前に上野の福智山麓の土地3900坪を購入した六車健三さん(上野)。以来、竹やぶを切り開き、自らの夢だった観光農園を開発しています。年中、季節ごとの花が彩るように植樹し、今からの季節は紅葉が見ものだとか。西鉄で観光業を積み重ねた知識と経験を生かし、完成間近の農園開発に情熱を注いでいます。



↑今はコスモスが満開、場所は旧天郷青年の家付近から直方方面へ(入場無料)

↓元晦禪師とゆかりが深く、同年に世を去った足利尊氏の法要も行われました。



は 無隠元晦禪師650遠忌報恩法要
るか南北朝時代に思いを馳せて

興国寺(上野)の開山とされる無隠元晦禪師の650遠忌法要が10月4日に開かれました。十数人の僧侶による読経が本堂に響く中、延べ200人が参列。この日、普段非公開の開山堂が開帳され、県指定文化財の無隠元晦坐像が公開されました。南北朝時代の傑作といわれる木造彫刻を拝した参列者は、その迫真の像に息をのみ、圧倒された様子でした。